

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		教育指導管理事務費 [学校プール指導補助員配置事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業番号	11			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育指導		課		指導		係	課長名	小野 隆一		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実							総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	小学校及び中学校の児童・生徒				児童・生徒数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
教員による水泳指導を行う際に、配慮を要する児童生徒の事故を防止するとともに、水泳が苦手な児童生徒の指導を行う。				水泳指導の対象となった児童・生徒数							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
小・中学校では6～9月の水泳授業及び夏季休業中に、教員による水泳指導において指導補助を行う学校プール指導補助員(会計年度任用職員)を配置しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため水泳授業は行われなかった。				配置なし。							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	6,562	6,556	6,427					
	成果指標	②の数値	人	6,562.0	6,556.0	0.0					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方											
活動指標		③の数値	時間	1,102	1,186	0					
3 経費	事業費(実績)		円	1,157,100	1,248,450	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,157,100	1,248,450	0					
		特定財源(国・都・他)	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.01	0.01	0.01					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	82,440	83,100	83,800					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	1,239,540	1,331,550	83,800						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化										
会計年度任用職員の身分であるが、雇用期間が非常に短く、任用手続きに時間を要する。学校側としては、指導員を推薦しすぐに指導に当たれるよう希望している。プール授業開始以降に指導者を推薦した場合、任用された時点でプール授業期間が終わってしまうことも考えられるので、有償ボランティア等で対応できるよう検討が必要。											

事業名称	教育指導管理事務費 [学校プール指導補助員配置事業]			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 小野隆一

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	2年度は水泳授業が中止となったため、募集していないが人材確保の方法を検討していく必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	2年度は水泳授業が中止となったため、行っていない。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
8	今後人材確保の方法を検討していく必要がある。 学校プールをスポーツジム等へ委託化し、指導員の廃止も視野に入れる。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 学校教育の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 更なる人材確保及び成果の向上			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 より良い人材及び必要人数を揃えるための募集（PR）の方法を模索する			